



国際ロータリー第2790地区 第3グループ  
千葉西ロータリークラブ  
Rotary Club of Chiba-West  
WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
会長 今野文明 幹事 北村悠介  
例会場 京成ホテル ミラマーレ  
〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1  
TEL 043-222-2111  
例会日 毎週火曜日 12:30～  
事務局 〒260-0001 千葉市中央区都町1-2-3  
TEL 090-3484-2790  
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
URL : https://www.chibawest-rc.net/

# 第1回仲間と紡ぐこどもたちの夢ジョイントコンサート特別号



- 開催日時：2025年12月21日（日）13:30～16:00（開場13:00）
- 開催場所：千葉市文化センターアートホール
- 主催：千葉西ロータリークラブ・千城ウインドシンフォニカ
- 当日入場者数：362名
- 参加団体・出演者総数175名（指揮者含む）
  - 千葉地域合唱クラブ 24名
  - 検見川小金管クラブ 81名
  - 千城台南中吹奏楽部 10名
  - 泉高校吹奏楽部 20名
  - 千城ウインドシンフォニカ 40名
- 運営スタッフ52名（内ロータリアン40名）

### ■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

本日は、「仲間と紡ぐこどもたちの夢ジョイントコンサート」に、こんなに多くの皆様方にご参加を賜り、誠にありがとうございます。

ロータリークラブとは、職業人、地域社会人の中心が集まり、奉仕活動を通じて、世界の親善と平和を推進する国際的な奉仕団体です。

本年度、我が千葉西ロータリークラブは、創立 50 周年を迎えます。

そして、創立 50 周年のクラブテーマを

～ 感謝50周年 ～ 歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦

とさせていただきます、記念事業として、三つの青少年健全育成事業を行います。

この三つの青少年健全育成事業を通じて、青少年に「夢と希望を与え」そして、千葉西ロータリークラブとして『浪漫』を、追求する一年にしたいという思いで、本年度をスタートさせていただきました。

二つは、継続事業として、当クラブ 10 周年記念事業の一環として、次代を担い地域社会の青少年健全育成に役立つ育英事業を目的した、既に 40 年間の長年の実績を誇る「公益信託千葉西ロータリークラブ青少年育英基金」の更なる拡充です。もう一つの継続事業は、1989 年から 39 年間活動している「社会福祉法人千葉いのちの電話」を通して、児童生徒が令和元年 399 名だったのが、今現在 532 名へと増えている未来を担う若者の自死防止への地道な支援活動の更なる充実です。

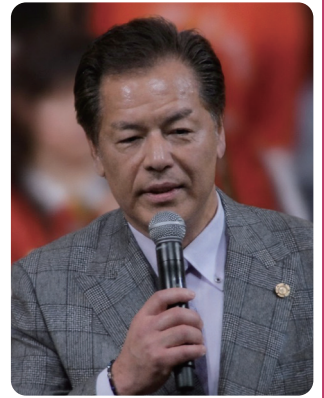
そして、新規事業として、これから開催させて頂く「第 1 回仲間と紡ぐこどもたちの夢ジョイントコンサート」は、千葉市、千葉市教育委員会、千葉県教育委員会の後援を頂き、本日は、大変お忙しい中、神谷俊一千葉市長にもご臨席を賜りました。

この事業は、複数年の継続事業を目指し、千城ウインドシンフォニカの協力のもと、学校教育の環境の変化、演奏機会が少なくなった、小規模な学校の部活動にスポットを当て「子供達への音楽指導と発表会の場を提供する」ジョイントコンサートです。

子供達には、失敗を恐れず、精一杯、楽しんで、演奏をして頂きたいなと思っています。

そして、新たな飛躍の切っ掛けとなり、将来の「夢と希望」に繋がればと考えています。

そして最後に、本日の参加者、総勢 175 名の子どもたち・出演者の全力の演奏を、心より期待をし、また楽しみにしています。以上で、主催者としての、挨拶とさせていただきます。



### ■ 市長挨拶 / 千葉市市長 神谷俊一 様

本日、「仲間たちと紡ぐこどもたちの夢 ジョイントコンサート」が、盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。また、このような素晴らしい機会を企画、開催していただきました千葉西ロータリークラブの皆様をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

千葉西ロータリークラブの皆さまには、昭和51年の創立以来、半世紀にわたり奉仕と友愛の精神のもと、幅広い地域貢献活動を継続的に展開され、本市のまちづくりに多大なご尽力をいただいております。

また、千城ウインドシンフォニカの皆さまにおかれましては、平成3年の結成以来、年2回の自主公演をはじめ、吹奏楽を通じて地域に音楽の楽しさと感動を届け続けてこられました。改めまして、両団体の皆さまの長年にわたるご活動に、心から敬意と感謝の意を表します。

本コンサートは、千葉西ロータリークラブの創立50周年記念事業として、また千城ウインドシンフォニカの結成35周年事業の一環として開催されるものと伺っております。日頃、部活動などで研鑽を積まれている児童生徒の皆さまと、豊富な演奏経験をお持ちの千城ウインドシンフォニカの皆さまが一堂に会し、ともに演奏される本日のステージは、ジョイントコンサートならではの多様な音楽性と厚みを増したハーモニーを生み出し、ご来場の皆様を大いに魅了するものになることと期待しております。

さて、本市では今年、文化芸術にあふれ、創造性豊かなまちの実現を目指し、市民参加を重視した千葉国際芸術祭2025を開催しました。文化は決して一部の人の特別な営みではなく、誰もが関わり、一人ひとりの思いや活動の積み重ねによって育まれていくものです。本日のコンサートをはじめ、地域に根ざした音楽活動や芸術文化の取り組みから新たな創造の波が生まれ、やがてまち全体へと広がっていく。そのような未来を皆さまとともに描いていきたいと思っております。

千葉西ロータリークラブが創立された昭和51年、本市では「千葉開府850年記念式典」を挙行し、長い歴史を振り返りな





から、未来へ向けて新たに歩み始める機会としたほか、第1回の「千葉の親子三代夏祭り」が開催されるなど、節目となった年でした。

そして来年2026年、千葉市は、平安時代末期に千葉常重がこの地に本拠を移し、まちが本格的に開かれてから、ちょうど900年という大きな節目を迎えます。6月には「千葉開府900年記念まつり」を開催するほか、8月には「千葉の親子三代夏祭り」を特別な形で実施し、さらに11月には千葉駅前大通りを舞台に「千葉開府900年記念パレード」を盛大に開催する予定でございます。

多くの皆様とともに900年の歴史を祝い、過去を振り返りながら未来への一步を踏み出す一年にしたいと考えておりますので、ともに盛り上げていただけますと幸いです。

結びに、本コンサートの開催にあたり、多大なご尽力をいただきました関係各位に深く敬意を表しますとともに、本日まで参加の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### ■ 推進委員長挨拶 / 海寶勸一 推進委員長

千葉西ロータリークラブは、1976年（昭和51年）の創立以来、「奉仕と友愛」の精神のもと、地域社会への貢献と社会奉仕活動に継続して取り組んでまいりました。

青少年育成においては、「公益信託 青少年育英基金」の運営をはじめ、台湾・韓国の姉妹クラブとの「千葉市内小学生による書画交流」など、長年にわたり多様な活動を続けております。

このたび新たな取り組みとして、小・中・高等学校における金管・吹奏楽部活動を支援する事業を企画いたしました。本事業は、演奏技量や音楽マナーの向上を目指し、地域で活動する市民吹奏楽団とロータリークラブが連携して行う新しい試みです。

少子化の影響により、千葉市内の学校でも部活動の部員数が減少し、大規模なホールで演奏を発表する機会が少なくなっていると聞いております。そこで、地域奉仕を使命とするロータリークラブとして、青少年の皆さんに本格的な演奏指導と、演奏会という貴重な体験の場を提供したいと考えました。

本事業では、小・中・高等学校の児童・生徒の演奏技量の育成をはじめ、地域交流と文化の維持・発展を目的に掲げ、千葉市・千葉県ならびに市の文化振興財団など、行政の皆様からも力強いご協力をいただきながら、相互扶助の精神によるジョイントコンサートとして企画しました。

また、ロータリー財団地区補助金事業としての実現も目指し、準備を重ね、ようやく本日を迎えることができました。まさに官・民・学が一体となり、ロータリーを通じた奉仕の輪が広がった事業であると感じております。

音楽演奏を通して、行政・学校・地域が連携し、子どもたちが生き生きと演奏に取り組み、新たな夢を抱いてくれることを願っております。

具体的には、立派なコンサートホールでの演奏を目標に、優れた演奏環境での練習体験を提供しました。学年や世代を超え、市民吹奏楽団と学校が協力し合うことで、地域交流と文化活動がさらに広がることを期待しています。

さらに本事業を通じて、行政との連携を深め、部活動を地域で支える新たな協賛や支援の形を模索し、将来の文化活動を支える人材育成へとつながることも念じております。

発表の場となった、ここ千葉市文化センターアートホールでのジョイントコンサートが、青少年とともに地域の未来を育てる希望となり、その思いが保護者の皆様、さらには地域全体へと広がっていくことを心から期待しております。

演奏指導および運営面につきましては、市民吹奏楽団である「千城ウインドシンフォニカ」の皆様にご全面的なご尽力をいただきました。ロータリークラブの五大奉仕部門の一つである「青少年奉仕」と、同楽団の理念が一致し、「仲間と紡ぐ 子どもたちの夢 ジョイントコンサート」として実現できたことを、大変うれしく思っております。

本事業は、千葉西ロータリークラブ創立50周年記念事業であると同時に、千城ウインドシンフォニカ結成35周年事業の一環として開催されます。

この機会を通して、関係するすべての皆様の手を取り合い、真の仲間となり、明日を担う子どもたちの夢を応援し続けてくださることを心より願っております。



■ 事業報告

①事前練習

コンサート本番に先立ち、地域音楽団体の指導者が各学校を訪問し、合同演奏曲を中心とした演奏指導と合奏練習を重ねました。学校や団体の枠を越えた交流を通じ、演奏技術の向上だけでなく、互いを理解し信頼関係を築く貴重な機会となりました。



②前日リハーサル

前日には会場にて、出演団体および関係者によるリハーサルを実施しました。ステージレイアウトや照明、入退場動線の確認など、本番を想定した最終調整を行い、円滑な公演に向けた準備を整えました。



③当日本番

本番当日は、各団体による単独ステージで日頃の成果を発表した後、全出演者による合同演奏を行いました。事前の取組を通じて培われた共通理解により、初めての大編成ながらも一体感のある演奏が会場を包み込みました。



■ プログラム・出演団体

第1部《単独ステージ》

- 検見川小学校金管クラブ「フレンズ」指揮：森川 知子  
宝島
- 千葉地域合唱クラブ 指揮：佐久間 直  
われは海の子  
故郷
- 千葉市立千城台南中学校 吹奏楽部  
白銀のダイス
- 千葉県立泉高等学校 吹奏楽部 指揮：市原 真紀／山本 伸  
音楽祭のプレリュード  
「アラジン」メドレー
- 千城ウインドシンフォニカ 指揮：高橋 暖  
森のくまさん、スーザに会った。  
さくらの花が咲く頃

第2部《合同演奏ステージ》指揮：森川 知子／高橋 暖

- アフリカン・シンフォニー
- ジングル・ベル in Swing
- 翼をください
- 千葉市イメージソング「心の飛行船」  
(アンコール曲) 花は咲く  
(アンコール曲) ハッピークリスマス





## ■ 総括

### 来場者の声（アンケート結果より抜粋）

- 子どもたちが一生懸命演奏する姿に心を打たれ、とても感動しました。
- 小学生・中学生・高校生が段階ごとに成長していく様子が一度に見られ、貴重な機会だと感じました。
- 大人数での合同演奏は迫力があり、息の合った演奏がとてもかっこよかったです。
- 普段なかなか経験できないホールでの演奏が、子どもたちの大きな励みになっていたと思います。
- 世代を超えて一緒に演奏・参加できる点が素晴らしく、地域のつながりを感じました。
- 各団体それぞれが主役となる演奏があり、プログラム全体がとても充実していました。
- 音楽を通じて地域全体で子どもたちを育てていることを実感できました。
- このような素晴らしいコンサートを企画・運営して下さった関係者の皆さまに感謝します。



## ■ 謝辞

本事業の実施にあたり、準備段階から当日の運営までご尽力いただいた会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

事前の演奏指導への立ち会い、前日リハーサルや当日の運営対応など、目立たない部分も含めた一つひとつの積み重ねが、本番の成功につながったものと感じています。

会員の皆さまがそれぞれの立場で子どもたちに寄り添い、地域を支える姿は、まさにロータリーらしい奉仕の形でした。皆さまのご協力に改めて御礼申し上げます。

千葉西ロータリークラブ創立 50 周年記念事業式典祝賀推進委員会 青少年育英ジョイントコンサート委員長 長坂圭将  
担当 クラブ広報・ロータリー情報委員長 川崎美嘉子

本事業の様様につきましては、別途「月信 3 月号」ならびに「ロータリーの友」（掲載時期未定）にも掲載される予定です。

